

市民文化スポーツ局

一般会計要求総額 18,474百万円 (対前年度比 +32.0%)
特別会計要求総額 599百万円 (対前年度比 ▲8.6%)
合計 19,073百万円 (対前年度 +30.2%)

【令和6年度 予算要求方針】

- 「彩りあるまち」を目指し、エンターテインメントによる賑わいづくりや、文化芸術やスポーツの振興に取り組みます。
- 「安らぐまち」を目指し、コミュニティ活動などの活性化や、犯罪のないまちづくりを推進します。

この方針に基づき、以下の4点について重点的に取り組みます。

文化芸術による 潤いあふれるまちづくり



子ども達の文化体験



50周年を迎える美術館

子ども達が文化を体験する機会の創出や、市民が中心となった活動を支援するとともに、美術館50周年を記念した展覧会を開催するなど、地域資源を活かした多彩な事業に取り組みます。

- 新** 文化芸術次世代育成事業「TRY ARTs」
- 新** 新世代応援「(仮称)Challenge Music Stage」
- 新** 北九州市立美術館開館50周年記念事業

スポーツを通じた まちのにぎわいづくり



市民が参加するスポーツイベント



国際スポーツ大会の開催

国際スポーツ大会等の誘致・開催や、市民参加型イベントの開催などにより、スポーツを「する」、「みる」、「創る・支える」機会創出に取り組みます。

- 新** スポーツコミッション事業
- 新** 令和6年度全国高等学校総合体育大会
- 新** (仮称)北九キッズスポーツマンスプロジェクト事業

安全・安心を 実感できるまちづくりの推進



生活安全パトロールの様子



防犯カメラの設置

地域や事業者等の自主防犯活動の活発化を図るとともに、警察等と連携した特殊詐欺の撲滅や暴力団排除への取組など、安全・安心なまちづくりの推進に取組みます。

- 継** 暴力追放運動の推進
- 継** 防犯カメラ関連事業
- 拡** 若者の犯罪行為への加担防止啓発事業

市民主体の地域づくりの推進等



市民センターでの地域交流の様子

自治会の加入促進や市民活動団体の育成、市民センターを中心とした次世代の人材育成やネットワークづくりを進めるほか、マイナンバーカードの普及促進等にも取組みます。

- 拡** 多世代が参加・交流できる自治会活動支援事業
- 継** ふるさと納税を活用した協働のまちづくり推進事業
- 継** マイナンバーカード関連事業

新：新規事業 **継**：継続事業 **拡**：拡充事業

※公開時点での予算要求の内容であり、令和6年度に実施することが確定しているものではありません。

令和6年度市民文化スポーツ局予算要求方針

1 令和6年度市民文化スポーツ局予算要求総括及び方針

(1) 令和6年度市民文化スポーツ局予算要求総括

【一般会計】

令和6年度要求総額	18,473,890千円
(令和5年度予算額	13,994,308千円)
前年度比	+32.0%

【土地取得特別会計】

令和6年度要求総額	598,708千円
(令和5年度予算額	654,884千円)
前年度比	▲8.6%

(2) 令和6年度市民文化スポーツ局予算要求の方針

- 「彩りあるまち」を目指し、エンターテインメントによる賑わいづくりや、文化芸術やスポーツの振興に取り組みます。
- 「安らぐまち」を目指し、コミュニティ活動などの活性化や、犯罪のないまちづくりを推進します。

この方針に基づき、以下の4点について重点的に取り組みます。

1 文化芸術による潤いあふれるまちづくり

豊かな文化芸術活動によって、まちの魅力をさらに高めるために、市民が中心となった活動を支援するとともに、開館50周年を迎える美術館における特別な企画展など、地域資源を活かした多彩な事業に取り組みます。

2 スポーツを通じたまちのにぎわいづくり

スポーツを「する」、「みる」、「創る・支える」市民の増加を目指し、国際スポーツ大会等の誘致・開催、市民参加型スポーツイベント等の開催、トップアスリートの育成や競技スポーツの支援などに積極的に取り組めます。

3 安全・安心を実感できるまちづくりの推進

安全・安心なまちづくりを推進するため、地域や事業者等の自主防犯活動の活発化を図るとともに、安全・安心に関する取り組みを市内外へ発信します。また、防犯灯や防犯カメラ設置の充実のほか、警察等と連携して特殊詐欺の撲滅や暴力団排除、高齢運転者の交通安全等に取り組めます。

4 市民主体の地域づくりの推進等

地域活動の中心的な担い手である自治会の支援や、誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり、NPO・ボランティアをはじめとする市民活動団体の育成等を進めるとともに、地域活動の拠点となる市民センターを中心に、次世代を担う人材育成や地域でのネットワークづくりに取り組めます。

また、マイナンバーカードの普及促進や円滑な交付に取り組めます。

2 重点的に取り組みたい主なもの

(1) 「稼げるまち」の実現

該当なし

(2) 「彩りあるまち」の実現

- ・ **新規**文化芸術次世代育成事業「TRY ARTs」 10,000 千円

文化芸術の力によってまちの魅力を高めるために、子どもの文化芸術環境のさらなる向上や、若者の文化芸術活動の活性化、まちの賑わいづくり等に繋がる事業への助成を行う。

- ・ **新規**新世代応援「(仮称) Challenge Music Stage」 3,000 千円

北九州市内のまちなかをステージとして、高校生や大学生などがパフォーマンスを多くの人に見せる「お披露目の場」をつくり、若者が工夫し、活躍・成長する機会を創出するとともに、まちの賑わいを創出する。

- ・ **新規**北九州市立美術館開館50周年記念事業 41,600 千円

開館50周年の節目にあたり、50年の歩みを振り返り、市民に芸術を親しんでいただける講演会の開催や、魅力的なオリジナル・グッズの開発を行う。

また、作品・建築のデジタル化を推進するため、文化庁補助事業を活用した美術館DX事業を実施する。

- ・ **新規**美術館VIPプレミアムアートツアー開発事業 1,000 千円

美術館の「訪れたくなる特別な空間」を活用した、美術作品の解説付観覧、夜景観覧、食事をしながら音楽・美術を楽しむプレミアムパッケージを開発し、来館者増を図る。

- ・ **新規**スポーツコミッション事業 16,500 千円

スポーツを通じた地域活性化として「スポーツツーリズム」等を促進するため、「北九州スポーツコミッション」を設置し、行政・観光関連企業・スポーツ団体等の官民ネットワークの強化を図るとともに、武道体験等のコンテンツ創出やアーバンスポーツの普及に向けたモデル事業等を実施する。

- ・ **拡充**令和6年度全国高等学校総合体育大会 49,938 千円
(うち拡充分 44,938 千円)

本市で2競技3種目(体操(体操競技・新体操)、自転車競技(トラックレース))が開催される令和6年度全国高等学校総合体育大会について、開催経費全体から国庫補助金及び協賛金等の収入を除いた額を県と市で負担する。

- ・ **新規**(仮称)北九キッズスポーツマンズプロジェクト事業 5,000 千円

子どもたちに多くのスポーツを体験してもらうための集中月間として「(仮称)北九キッズスポーツマンズ」を設定し、期間中に多様なスポーツ関係団体による体験会等を実施するほか、有名アスリート等を招聘したオープニングイベントを開催し、幼児期からスポーツを始めやすい機会の充実を図る。

- ・ ギラヴァンツ北九州支援事業 35,000 千円

本市のシンボルチーム「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助する。

- ・ **拡充**大規模国際スポーツ大会等誘致事業 18,000 千円
(うち拡充分 5,000 千円)

本市における生涯スポーツの振興や国際交流の推進及びにぎわいづくり等に大きな効果が期待できる大規模国際スポーツ大会や、代表チームのキャンプの誘致・開催支援を行う。

- ・北九州マラソン開催事業 74,040 千円

本市の魅力を全国に発信するとともに、スポーツによるまちのにぎわいづくりやスポーツの振興などを目的に「北九州マラソン」を開催する。

- ・ホームタウン推進事業 63,800 千円

市民の「みる」スポーツの機会の充実を図るとともに、体験教室等の開催を通じて、市が支援するトップスポーツチームが地域に愛されるチームとなるよう、ホームタウン活動を推進する。

(3)「安らぐまち」の実現

- ・大里地域スポーツ複合公共施設整備事業 71,281 千円

公共施設マネジメント実行計画におけるモデルプロジェクト再配置計画（大里地域）について、スポーツ施設ゾーンの複合公共施設を整備する。

事業手法の設定や実施段階に向けて必要となる調査・設計等を行う。

- ・体育館（予定避難所）空調設備整備事業 734,463 千円

予定避難所となっている体育館の暑さ対策や、避難所としての環境改善のため、小倉北体育館、小倉南体育館及び的場池体育館の3館に空調設備等を設置するとともに、その他3館の設計を実施する。

- ・**拡充**ふるさと納税を活用した協働のまちづくり推進事業 26,800 千円
(うち拡充分 6,000 千円)

ふるさと納税の仕組みを活用し、NPO法人と行政による協働事業を実施することで、複雑化、多様化する地域課題の解決を図り、官民連携による「協働のまちづくり」を推進する。

- ・ **拡充**多世代が参加・交流できる自治会活動支援事業 11,100 千円
(うち拡充分 3,000 千円)

持続可能な自治会づくりを進めるため、子育て世代や現役世代が参加・交流できる運営に取り組む自治会を支援するとともに、大学生やNPO等と連携した新たな住民ニーズに応える活動やスタートアップ企業と連携した課題解決の取り組みを進める自治会を支援する。

- ・ 客引き行為等の適正化に関する条例推進事業 17,000 千円

公共の場所における安全な通行や快適な利用ができる環境を形成し、本市のイメージアップを図ることを目的として、市民や事業者等に条例の周知啓発を行っていくとともに、客引き行為等禁止区域内における巡視・取り締まり等を推進する。

- ・ 暴力追放運動の推進 14,620 千円

暴力団による事件を風化させず、活動を活発化させないために、福岡県警察・県暴追センターと協力し、市民等の暴力追放意識をさらに高揚させる取組や、構成員の離脱・就労の推進など、引き続き、たゆまぬ暴追活動を行う。

- ・ 防犯カメラ関連事業 98,534 千円

駅の乗降客数や乗降客数あたりの刑法犯認知件数、周辺の開発状況や高校や大学の立地状況等を総合的に判断し、市内主要駅（南小倉駅を予定）周辺に防犯カメラを設置するほか、耐用年数を迎える繁華街の防犯カメラを順次更新する。

また、地域団体や事業者が公共空間を撮影する防犯カメラ設置費の一部を補助する。

- ・ **拡充**若者の犯罪行為への加担防止啓発事業 5,000 千円
(うち拡充分 3,000 千円)

特殊詐欺の被害が近年急増しており、若者の犯罪行為への加担を防止するため、闇バイト等の検索を行った若者層を対象に、ターゲティング広告を使った直接的な注意喚起等を実施し、犯罪行為の未然防止を図る。

- ・ マイナンバーカード関連事業 247,574 千円

令和6年秋の健康保険証との一体化など、利活用が見込まれるマイナンバーカードの申請、交付について、市民課やサテライトコーナーでのサポートを行うとともに、一部の出張所でも予約による交付ができる体制を整備する。

- ・ **拡充**戸籍への氏名振り仮名記載関連経費 46,915 千円
(うち拡充分 36,194 千円) (他に令和7年度債務負担 389,070 千円)

戸籍法の改正により戸籍及び戸籍の附票の氏名に振り仮名を記載するため、システム改修に係る経費に加え、本市の本籍人口約95万人に対する通知発送、届書の回収、コールセンター設置等の体制を整備する。

3 令和6年度予算編成に向けた事務事業の自己点検状況

令和6年度予算編成と同時並行的に取り組んでいる自己点検の内容については、予算案の決定に向け見直しを検討しているところです。

現時点で、見直しの検討を行っている事業の例としては、以下のものがあります。

(1) 視点2：効率性・生産性・費用対効果

(例)・安全・安心巡回指導業務

(2) 視点3：他の政策との重複の有無

(例)・出張所におけるオンライン相談（実証実験）

(3) 視点4：実施水準及び対象範囲の妥当性

(例)・ホームタウン推進事業

(4) その他一般経費（内部管理費）の見直し